

令和6年12月5日 令和6年第2回定例会 12月定例会議  
副議長選挙に係る所信表明

つくば・市民ネットワークの小森谷さやかでございます。

この度、副議長を志願するに当たり、所信を述べさせていただきます。

御存知のとおり、市民に選ばれた私たち議員が構成する市議会は、地方行政を推進する二つの代表の一翼を担うものです。民主主義に基づき、市民の声の代弁者としてしっかりと執行部と議論をしていくことが求められます。時には、議会の中で意見が分かれることもあります。たとえ対立する立場であっても、お互いの合意点を探り、議会としての結論を出す努力をしていかねばなりません。

ただし、そのように議員として様々判断をしていくには、正しく情報が公開されていることや、議員同士が自由闊達に意見をぶつけ合える環境が必要です。

私が初めてつくば市議会の一員となった8年前、又はそれ以前の議会に比べると、情報の公開性は各段に上がり、議員同士の情報共有の場や意見交換の機会が増えました。また、議会への市民参加の場である議会報告会も、単なる報告の場としてだけではなく、より市民とフラットな目線で意見を交わし合える形式へと進歩しています。

しかし、議会改革にゴールはありません。私は、この議会改革の歩みを止めることなく、議長と共に、更に開かれた議会へ、市民に分かりやすい議会へと推し進めていくことを約束します。議員各位の皆さまの御協力と御賛同をお願いしまして、私の所信表明といたします。

以上